



「不屈」No. 579付録

山形県版 No. 397

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

山形県本部

〒994-0073

天童市寺津263

瀬野幸男方

TEL. FAX.

023-654-3255



安倍元首相の「国葬」中止を求める記者会見。市民連合やまがたの呼びかけで集まった人々。賛同団体は18。国賠同盟白根澤会長(前列左端)も参加

(9月7日、山形県庁)

# 安倍元首相「国葬」反対の世論を広げよう

国賠同盟県本部会長 白根澤 澄子

この度県本部会長に就任した白根沢澄子です。どうぞよろしくお願いたします。

今、安倍晋三元首相の国葬反対の声が広がっています。全国世論調査では50%以上の方が反対し、学者や作家らが呼びかけた国葬中止オンライン署名は40万人を超えています。各地で集会が開かれ、多数の団体が国葬中止の声明を発表し、関係機関に意見書を送っています。国賠県本部も国に中止を求める意見書を、県に弔意の強制をしないようにという意見書を送付しました。

法政大学名誉教授・前学長の田中優子さんは、国葬とは天皇が家来の功績をたたえるために行われ、国民にも哀悼を求めた大日本帝国の遺物であり、国葬を行うということは戦前の日本に戻ろうというメッセージだ、と述べています。自由と民主主義が奪われていた戦争の時代を繰り返させない活動をしている治安維持法国賠同盟は、安倍氏の国葬反対に取り組まなければなりません。国葬中止の署名はオンラインの他に文書での署名も始まりました。県内各地で国葬反対の集会が開かれています。会員それぞれができる活動をやっつけていきたいと思います。

常任理事会報告(2頁)／支部総会報告(2頁)／安倍元首相の「国葬」反対の抗議と要請(4頁)／村山俊太郎・ひで顕彰碑の碑文案(6頁)

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

① 治安維持法体制の復活に反対する。

② 国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法であつたことを認めること。

③ 国は、治安維持法犠牲者に、謝罪と賠償を行うこと。

## 2022年度第一回常任理事会 藤田廣登論文「治安維持法成立から 100年」を学習

▼8月25日、今年度第一回常任理事会を開催、常任理事13人全員参加しました。議長に菊池喜英副会長を選び、白根澤澄子会長のあいさつの後、約一時間の学習会を行いました。激動する情勢下で、「国賠同盟の活動・存在意義」について確信を深めるために、毎月の常任理事会で一定の間、学習会に当てることにしました。最初に、藤田廣登論文「治安維持法成立から100年」をテキストに数回に分けて読み合わせと討論を行うことにしました。

▼〈議事の主な内容〉(1)安倍元首相の「国葬」中止・閣議決定の撤回を求める要請書を国と県に送ることを決定。要請書の内容検討。(4頁参照) (2)8・15宣伝行動の実施状況と課題(3頁参照) (3)今年の課題―「楽しく元気な同盟活動、組織と運動の若返り」をどのようにして達成させるか。今後、県本部・支部共に深めていくが、まず支部総会を開

## II 計報 II

前県本部副会長・國井浩丞さんが、8月20日ご逝去されました。88歳。葬儀は8月24日に行われ、県本部から弔電と香典を差し上げました。

國井さんは、同盟山形支部を県本部に組織編成した1995年に理事に(同年・西村山支部結成、支部長に就任)、98年副理事長、2000年県本部副会長に就任、22年7月30日に副会長を辞

任するまで27年間、山形県の同盟運動の発展に貢献されました。また同期間の署名、寒河江市・河北町・朝日町・西川町・大江町での請願採択、毎年「3・15、4・16集会」の実施、女性部の結成と活動など全県をリードする支部活動を推進してこられました。心から感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。  
(県本部、瀬野記)

き、学習を重視し、署名活動、会員拡大をスタートさせる。毎月、各支部1名以上の会員を拡大しよう。  
(4)映画「伊藤千代子の生涯」第二次上映運動(置賜、鶴岡、酒田、北村山、〈新庄〉)について (5)村山俊太郎とひで顕彰碑建設募金活動について(6頁参照)

## 支部総会の報告

映画「伊藤千代子の生涯」上映運動の成功を中心に据えて

鶴岡田川支部事務局長 岩城 充

7月23日に第27回鶴岡田川支部総

会を行いました。支部総会の前段で、映画「わが青春はつぎるとも―伊藤千代子の生涯―」の学習・PR版の視聴を行いました。視聴後、山形市での映画上映を観た方から、感想として「治安維持法がどういうものであったかの理解が自分自身足りない、これから深く学習していきたいし、国賠同盟の活動と治安維持法の実態を、鶴岡での映画上映を通して、市民・町民に広めていきたい」という積極的な意見がありました。我が鶴岡田川支部が結成されたのが1995年、支部の機関紙「不屈」が発行されたのが199

6年11月です。そして、この8月で支部版「不屈」は、295号数えています。今年度中に、300号に達します。四半世紀を越える歴史を持つ国賠同盟鶴岡田川支部がさらに発展するための、年度総括と22年度活動方針を話し合いました。

総会では、毎年、署名活動、8月15日の宣伝活動、会員拡大、財政活動、毎月発行の「支部版不屈」の広報活動、毎月の役員会をしっかりと行い、今年度は、特に映画上映を鶴岡田川地区の多くの協力を集め成功させることを、参加者一同で確認し合いました。

会員みんなが署名活動に参加する  
支部づくりを

米沢支部事務局長 須貝健一  
2022年度第26回支部総会は8月24日、置賜総合文化センターで行われました。

総会に先立って、『どうなる日本国憲法』というテーマで、地元の阿部哲弁護士より約1時間の講演をしていただき、その後、質疑応答をし

ました。

立憲主義、憲法改正国民投票法、改憲の限界、自民党の改憲案など弁護士ならではの切り口でのお話でした。最後に、自民党は「なぜ改憲しようとしているのか」「改憲後日本がどう変わるのか」その内容を多くの人に知ってもらう運動、「改憲の動きにどう備えるか」が大事であると強調しました。あらためて米沢9条の会や民主団体が結束して、運動を早急に再構築していく必要があると感じました。(参加者は会員10名、会員以外3名)

総会では昨年度、個人署名485筆で目標の1,000筆に届かず、コロナ禍の中ほとんどの集会が中止になり大変でしたが、会員みんなが署名に参加する支部づくりや外部団体との協力関係を深める重要性が提案されました。今年度も個人1,000筆、団体30筆を目標とします。

会員拡大については、全国2万人、山形県400人の目標に込めるべく努力した結果、2名(女性)が新規加入し、会員数25名(内女性8名)

8・15宣伝行動各支部の取り組み

支部	行動人数	新聞折込	特 徴
山形	3(街宣)		チラシ40枚、署名7筆
鶴岡田川	5		櫛引地域全戸配布 500枚
酒田		1,000	チラシの裏面に署名用紙
天 童		400	チラシの裏面に同盟宣伝
米 沢	3	550	宣伝カーで市内訴え
上 山		320	
西村山		800	
北村山		1,130	チラシに署名用紙
東置賜			
西置賜		430	
合 計	11	4,630	

に、27名を目標とします。

最後に、映画「わが青春つぎとも」伊藤千代子の生涯」のプロモーションDVDを観て、年内の取り組みを確認しました。

新役員は留任で、支部長・鈴木淳子(県本部理事)、副支部長・白根沢澄子(県本部長)、事務局長・

須貝健一（県本部常任理事）、事務局員・吉田久（犠牲者名簿改訂委員）になりました。

地域での戦前のたたかいを学習し、若い人を同盟員に

東置賜支部事務局長 村上キヨ子

8月26日、コロナ禍のため三年ぶりの支部総会を開催、6名が出席しました。総会では2年間の活動経過と、決算を報告し、2022年度の活動計画・予算・新役員を決定しました。出席が少なかったのが問題とされましたが、コロナ禍での開催なので、出席は自己の責任であらかじめ連絡しておきましたので、総会は成立しており、議案を審議、補強しながら承認されました。

話し合いの中で、会員自身が戦前の思想弾圧の実態、特にこの地域でのたたかいの実態を知らないということや、若い人を同盟員に誘うことが大事だと提起されました。当面の活動として、「伊藤千代子の映画」は内容的にも時期もぴったりだから、特に若い人を意識して誘い広めてい

くこと、楽しい会を開きながら運動をすすめることが強調されました。

新役員については、支部長の体調不良があつて、辞任したい旨の話がありました。今年度は支部長代行として吉村徹さんになってもらい、

県本部は八月三〇日、白根澤澄子会長名で安倍元首相の「国葬」撤回を求める以下の要請書を国と県に送りました。

内閣総理大臣 岸田文雄 様

安倍元首相の「国葬」に反対し、撤回を求めます

岸田内閣は、参院選の街頭演説中に銃撃を受け死去した安倍晋三元首相の「国葬」を、9月27日に武道館において全額国費で執り行うと閣議決定しました。

私たちは、次のような理由で安倍元首相の「国葬」に反対し、撤回を求めます。

①国葬は、戦前大日本帝国憲法の下で天皇の勅令である「国葬令」に基づいて行われましたが、戦後民主主義、法の下の平等・思想信条の自由・政教分離などの基本的人権を定めた日本国憲法と相容れないとして1947年

平田支部長と連携をとって進めて行くことを決めました。そして、今年度一年をかけ、支部全体の体制について検討していくことを確認しました。

に廃止されました。

②政府は国葬の法的根拠を内閣府設置法の「国の儀式」に置いています。そこに「国葬」が含まれるという法的根拠はありません。そもそも、国会を開かず単なる閣議決定で国費を支出して「国葬」という形の儀式を行うことは議会制民主主義に反します。

③銃撃により命を落とした安倍氏に対する追悼の気持ちをもっている人々も含めて、安倍元首相の内政・外交政策、その政治姿勢に対して、国民の中で大きく評価が分かれています。「国葬」を行うことは、安倍氏の政治的立場や政治姿勢に対して、国民の中で大きく評価が分かれています。「国葬」を行うことは、安倍氏の政治的立場

や政治姿勢を国家として全面的に公認し、賛美・礼賛することになります。弔意を示すか否かは、内心の自由にかかわる問題です。

山形県知事 吉村美栄子様／山形県教育委員会 教育長 高橋広樹様  
安倍元首相の「国葬」に反対し、適切な対応を求めます

〈前文は、内閣総理大臣宛と同じ。引き続き以下のことを要請。〉

8月12日の安倍家の家族葬において、東京都、仙台市等が小中高校に「半旗掲揚で弔意を示す通知」を出しました。学校で子ども達に「国葬・半旗」のことを説明すれば、国民の中で評価が分かれていく安倍氏を偉人と刷り込むことになりません。

又、「国葬に知事等が参列するための公金支出を裏づける法律は存在せず、自治体『事務』には該当しない違法行為」として、全国で「支出の差し止めを求める住民監査請求」が行われています。

よって、以上のことから次の三点を要請します。

1. 政府に国葬中止を求めること。
2. 「国葬」が、多くの市民の反対を無視して強行実施される場合、庁内で「黙とう」放送・記帳台設置や、市町村首長・教育委員会・学校等に対し「半旗掲揚」「黙

### 国葬強行に蘇るアベ政治の記憶

川嶋 均 東京藝術大学講師

2015年に安倍内閣が強行した安保法制以来、日本で強まる軍事大国化の流れ。今回の参院選でも、敵基地攻撃能力や日本の核武装論の急先鋒に、安倍元首相がいた。安倍内閣で副首相を務めた人物は「改憲はナチスの手口で」と言い、安倍内閣の法務相は「治安維持法は当時適法に制定された」と人権抑

圧の歴史を正当化し、現代の治安維持法・共謀罪法を強行した。ドイツでナチス独裁の実現に力を発揮した全権委任法と、自民党改憲案にある緊急事態条項との類似性。通算8年7カ月に及んだ安倍政権の影は、モリ・カケ・桜にとどまらず、今も様々な形で現政権に引き継がれている。

そんな安倍元首相が銃撃され急死した。慰安婦番組への介入事件や、札幌でのヤジ弾圧事件など、戦前回帰ともいわ

- 「教育活動の中での弔意表明の訓話」など、いかなる形であろうと要請・依頼・働きかけ等を行わないこと。
3. 公金支出による公人としての参列を見合わせること。

れた言論封殺にむしろ親和性をもち、一方では日本の警察国家化を押し進め、数々の治安立法を強行してきた安倍氏が、演説中に凶弾に倒れるとは、歴史は何と皮肉なのだろう。しかも銃撃犯は、安倍氏自身が温存し自民党の権力構造に深く入り込む旧統一教会の被害者だったというさらなる皮肉。

岸田政権はその安倍氏の葬儀を、国会にも諮らぬまま、こともあるに憲法上根拠のない国葬で執り行うと発表された。憲法と民主主義を破壊してきたアベ政治に傷つき、人生を賭して立ち上がらざるを得なかった多くの人々の怒りが、いま国中に渦巻いている。国葬の強行は、新たな政治変革の炎を、ぼくたちの心のうちに燃え立たせずにはおかないだろう。

(2022年7月31日記)

〈国賠同盟東京都本部支部版「不屈」2022年8月号より転載〉

## 【村山俊太郎・ひでの顕彰碑文】 原案提示

俊太郎とひで

人民解放と民主教育を目ざして

北方のともしび

村山俊太郎 一九〇五年福島生まれ

「われわれの民主主義教育や文化の活動が、まず人民の解放のためのものにむすびつかねばならぬし、またそのむすびつきによつてのみ、文化の教育が正しいうるわしい光を放つことになる」

（「教育と人間性」一九四七年）

十六歳で山口村尋常高等小学校の代用教員、二八年山形師範専攻科を卒業し山形市の教員となる。三一年教育労働者組合を組織し治安維持法違反で検挙、免職。日刊山形の記者をしながら「北方性教育運動」をすすめる。『生活児童詩の理論と実践』を刊行。三七年に復職する。その間生活綴方の実践と膨大な諸論文、評論を発表。四十年生活綴方事件で再検挙。実刑二年六ヶ月の判決。劣悪な獄中生活で肺結核にかかり服役

## 延期 戦後職場復帰し 教職員組合を結成 山形県教組副委員長として 教職員労働条件の改善 民主教育の確立 二・一ストの指導等に全力を尽くす 病気が再発し一九四八年十二月九日に死去 四十三歳

明けない夜はない  
村山ひで 一九〇八年東根市生まれ  
わたしたちは今日 ほんとうの愛  
母親の名でちかう ほんとうの暮し  
戦争はいや そして  
貧乏はいや 崩れぬ平和をきづこうと  
病氣はいや

（山形県第六回母親大会）

二七年女子師範学校を卒業し小学校教員、三三年免職中の俊太郎と結婚。俊太郎の二度にわたる弾圧の中でも、教師をつづけて五人の子どもたちを育て、俊太郎を支える。戦後、教員組合に婦人部をつくり、同一労働同一賃金など女性教師の地位向上や民主教育の実践に全力で取り組む。俊太郎の死の翌年の四九年十

月 レッド・ページで失職、その後

教職員組合書記、東根市議会議員

（共産党） 母親運動の発展に貢献

六九年俊太郎とひでの歩みを『明けない夜はない』と題して出版。多くの読者に感動を与える。その後も多くの著書を出版。二〇〇一年三月十日死去。九十三歳

2020年 月 日

村山俊太郎・ひで

顕彰碑建立実行委員会



村山俊太郎・ひで 顕彰碑建設  
募金活動にご協力下さい。

国賠同盟としての団体募金は20万円を目標としています。会員一人当たり300円を目安に支部としてまとめて県本部に納入願います。また、任意での個人募金へ先月配布した募金パンフを参照してください。また、任意での個人募金へ先月配布した募金パンフを参照してください。10月末まで、支部事務局又は県本部事務局にお寄せ下さい。